

第 1 回防災・危機管理セルフチェックシステムにおけるチェック項目策定に関する  
検討会での主な指摘事項と消防庁の対応案

○ セルフチェックシステムの目的とチェック項目の選定方針を明確にすべきではないか。

(消防庁回答)

目的及び項目選定の方針については、資料 2 のとおり。

○ セルフチェックシステムにおける「標準」の水準をどこに置こうとしているのか。全市区町村が最低限実行すべきところなのか、それとも市区町村が達成すべき理想的な水準なのか。

(消防庁回答)

市区町村の防災水準の底上げを目的とするため、原則として、市区町村が実施すべき基本的項目を選定する。

○ 1 項目について、質問する内容は 1 つに絞るべきではないか (1 つの質問に対し、複数回答がされるのは好ましくないのではないか)。

(消防庁回答)

ご指摘を踏まえ、1 項目の中で、複数の事項について質問がなされているものについては、項目を分割することとする。

○ マニュアルがあるかどうかという点について質問するだけでは、実効性を検証することができないため、マニュアルで求められている重要事項を一定数質問に加えるべきではないか。

(消防庁回答)

ご指摘を踏まえ、質問事項については具体的な状況を想定した内容とする。

○ 項目一つ一つの根拠を明示し、その都度市区町村がマニュアル等を参照できるようにすべきではないか。

(消防庁回答)

現行のシステムでは、引用根拠を明示することは難しいが、市区町村担当者に入力の際に参考としてもらうため、引用根拠等を送付することとしたい。

- システム運用にあたり、人口等、外部からでもわかる情報については、システム等であらかじめ入力することとしても良いのではないか。

(消防庁回答)

システムの都合上、データをあらかじめ入力しておくことはできないため、これまでの方針のとおり、市区町村が入力することとする。なお、市区町村担当者が活用できるようにするため、消防庁において把握している情報については、運用開始に合わせて別途情報提供する予定である。

- 今後毎年度チェックを実施していくのであれば、毎年重点項目を変えること等も考えるべきではないか。

(消防庁回答)

再来年度以降、項目を変える必要性があれば、その都度検討していくこととしたい。